

# 太宰府中学校2学年だより

No.7

R3.6.18

## 太中スポーツフェスタ



緊急事態宣言が20日まで延長されたのを受けて、筑紫地区の各中学校では、体育会の実施について、様々な対応に追われました。

本校では、行事名を「太中スポーツフェスタ」と改め、プログラムを「学年競遊・男女別種目・ブロック対抗リレー」の3種目に厳選して、午前中のみ実施することにしました。

本来なら先月16日に行われるはずだった体育祭は、1ヶ月のブランクを経て、ようやく開催される運びとなりました。

昨年度はすべての学校行事が中止になり、卒業された先輩方はやり場のない思いを残して中学校を巣立ちました。その姿を見ていた現3年生の先輩方は、「先輩方の分まで、盛り上げる体育祭にしよう!」という熱意のもと、これまで精一杯モチベーション(やる気や意欲)を高めてきたと思います。ましてや、「1ヶ月の延長」となったとき、今まで高めてきたものを今日まで維持してきたことは、大人でもなかなかできないことだったと思います。

ブロック長が「10年後、20年後に『あんなこともあったよね』と笑って言い合える、思い出に残る行事にしようね。」と語った言葉に、3年生の思いがすべて凝縮されていました。

皆さんの中には「競技が少ないから面白くない」「リハーサルで勝敗がでたのでつまらない」と思った人もいたでしょう。その考えは間違っていない。ただ、体育祭の目的は、勝ち負けに執着するだけでなく、学級や学年の仲間、同じブロックの先輩や後輩と一緒に競技をすることで、仲間の頑張りを応援しあったり、讃え合ったり、励まし合ったりするところに価値があると思います。

その貴重な価値を、これまでの先輩方が次の後輩に受け継いできたものが「伝統」という名のバトンであり、太宰府中の40年以上の歴史の中で、脈々と受け継がれてきたのだと思います。

来年は、皆さんが最上級生となり、学校行事を引っ張る立場になります。

皆さんは、来年どのような体育祭をしたいと思いますか。先輩から受け継いだバトンを胸に、どんな厳しい状況におかれても、モチベーションを維持して、明るく元気よく後輩を導く姿に成長できるといいですね。

来年度の体育祭は、もう始まっています。「今から・ここから」どんな行事をつくるのか、皆さんの持ち味である「認め合い教え合い・高め合い」ができる体育祭が1年後に開催されることを期待しています。

来週24日は「職業実践講座」で、様々な業種の方からの講話と活動を予定しております。

### 保護者の皆様

感染拡大防止に予断を許さない状況の中、子どもたちにとって待望の学校行事が無事終わりました。子どもたちが、一人も感染することなく行事に参加することができたのは、偏に保護者の皆様の御蔭です。体操服や水筒の準備をはじめ、お子様の体調管理に気を配っていただいたことに感謝申し上げます。

来週24日は「職業実践講座」で、様々な業種の方からの講話と活動を予定しております。